

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 424 事業名 新型インフルエンザ検査体制整備事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		衛生研究所費	
	大事業		衛生研究所事業	
事項		新型インフルエンザ検査体制整備事業		

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
取組	2	衛生研究所機能の充実

事業種別	新規	主な事務事業	○
事業期間	H21 ~		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	衛生研究所	森野 吉晴 (453-0055)	
関連課	総務企画課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実	○	美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の人への感染拡大を防止する。 A/H1pdm2009及び季節性インフルエンザの集団発生、重症患者発生時の状況把握、ウイルス抗原性変化の監視を実施し、平常時の市内監視を行う。	<ul style="list-style-type: none"> HPAIの検査体制確立と維持 必要機器、試薬及び消耗品の整備、技術研修 HPAI発生時に、早期発見、感染拡大防止のための検査リアルタイムPCR法によるA/H5N1の同定検査 インフルエンザ集団発生、重症及び特異的症候患者の監視リアルタイムPCR法によるA/H1pdm2009及び亜型の同定検査 ウイルス培養による生物学的見地からの同定と抗原性変化の確認検査 DNAシーケンス及びリアルタイムPCR法による薬剤耐性、性状変化の確認試験 				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	<ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザウイルス(A/H1pdm2009)の検査に必要な検査機器、試薬及び消耗品の整備 新型インフルエンザウイルス(A/H1pdm2009)の技術研修や情報収集 新型インフルエンザウイルス(A/H1pdm2009)の型別遺伝子検査 	<ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザウイルスの検査に必要な検査機器、試薬及び消耗品の整備 HPAI等新型インフルエンザウイルスの技術研修や情報収集 新型インフルエンザウイルス(A/H1pdm2009)との鑑別と亜型の遺伝子検査 薬剤耐性株の遺伝子検査による性状変化の監視 ウイルス培養による同定及び抗原性変化の監視 	<ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザウイルスの検査に必要な検査機器、試薬及び消耗品の整備 HPAI等新型インフルエンザウイルスの技術研修や情報収集 集団発生や重症事例のウイルス型や亜型の遺伝子検査 薬剤耐性株の遺伝子検査による性状変化の監視 ウイルス培養による同定及び抗原性変化の監視 		

2 事業コスト

事業費 千円			平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費				6,967	6,748	600	599	685	685	685	685
	伸び率 (%)		-	-	-	-	-91.4%	-	14.2%	-	0.0%	-
	人件費	常勤職員			7,559	5,857	5,857	7,223	7,223	7,223	7,223	7,223
		非常勤職員			0	0	0	0	0	0	0	0
	小計				7,559	5,857	5,857	7,223	7,223	7,223	7,223	7,223
	国庫支出金				1,890	1,823						
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源(税等)				5,077	4,925	600	599	685	685	685	685	
所要人数	常勤職員			0.99	0.78	0.78	0.96	0.96	0.96	0.96	0.96	
	非常勤職員			0	0	0	0	0	0	0	0	

3 目標及び実績

指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	検査実施項目数(新型インフルエンザ検査)				年度目標値				
					実績値	2,723	1,697	1,188	
	単位	項目	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
成果指標	検査機器の整備と分析技術の確立による迅速な検査の実施				年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	A	A	A	
					年度目標値				
				実績値					
				年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	HPA Iの脅威に備えるための検査体制整備事業であり、検査に必要な分析機器を整備し、情報収集により最新の分析技術を確立しなければならない。国内感染事例が発生した場合には、国の方針などにより整備修正が必要であることや、別の新型インフルエンザが発生した場合には新たな整備が必要であるなど、その都度検査体制を整える必要がある。感染拡大の防止と市民生活への影響を最小限にとどめるためには、平常時における市内監視検査を実施し、有事に検査によるウイルス学的根拠を迅速に示すことが必要である。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	